

ご注意

本 PDF マニュアルは X68000 版『ネメシス' 90 改』付属の
説明書を電子化し、再編集したものです。

記載内容については、当時の表現を尊重して最低限の編集にとどめています。

現在では不適切と思われる描写・表現や、
本ソフトではご利用いただけない機能の説明、
当時の事業者名等が記載されていることがございます。

あらかじめご了承をお願いいたします。



NEEMESIS '90 改

ネメシス/解説書

はじめに

不滅のシューティングゲームとして大人気を博している「グラディウス」。

この「グラディウス」のストーリーを発展させ内容を大幅にグレードアップさせたものがMSX版「グラディウス2」です。

X68000版では、「グラディウス2」を「ネメシス'90」と改名し移植を開始致しました。しかしながら、開発に困難を極め90の由来である1990年に発売することができず本年1993年の発売となってしまいました。

途中、開発を中断した時ユーザーの皆様から励ましやおしかり等のお便りを沢山いただき、それを励みに開発を続行致し、装いも新たに「ネメシス'90改」として発売する運びとなりました。

発売の掲示を行ってから今日まで待っていただいたユーザーの皆様には心からおわび申し上げますとともに、厚く御礼申し上げます。

なお、「ネメシス'90改」はMSX版「グラディウス2」のゲーム性を損なわずに、X68000だけのオリジナル面が追加されています。

不朽の名作「グラディウス2」をX68000で存分にお楽しみください。

序

グラディウス歴6644年、亜時空皇国バクテリアンとの間で勃発した、第一次ブラネット・ウォーは、グラディウス史記の中では「北十字戦」として記されている。この戦いでグラディウス帝国の受けた被害は惑星全体の65%に及び、その大半が帝国都市のある北半球に集中した。しかし、闇に閉ざされた南半球側へのわずかな被害が、後にグラディウス帝国を危機へと導くトリガーとなることを、誰が予見しただろうか。

1

惑星グラディウスは、太陽系から2億8千万Km離れたところに位置し、その地軸は太陽に対してほぼ水平を保つ。このため、北半球では一年中太陽の恩恵を受け、逆に南半球は常に闇に閉ざされていた。

ここを母星とするグラディウス帝国は、人口約20億人、周囲に7つのネオ・スペースプラントと呼ばれる植民星を持つ。帝国の主要機能は、太陽のあたる北半球側に集中し南半球の開拓はほとんど行われていない。

リーク人は、惑星グラディウスの南半球側に住む唯一の民族であった。彼らの生活形態は原始的ではあったが、他の種族と一線を画するサイコパワーを持っていた。リーク人の持つサイコパワーは、リーク・パワーと呼ばれ、あらゆる動力機器及び生体のエネルギー源として利用可能であることが知られていた。その特異で強靱なパワーは、常に体内に保有する強力な特殊なマグネティック・イオンによって維持され、それゆえ自然界に存在する多種雑多な宇宙線を極度に嫌い、比較的宇宙線量の少ない南半球に住居を求めたのであった。しかし、帝国政府は、原始的な彼らリーク人の存在を憂い、認知を拒否していた。



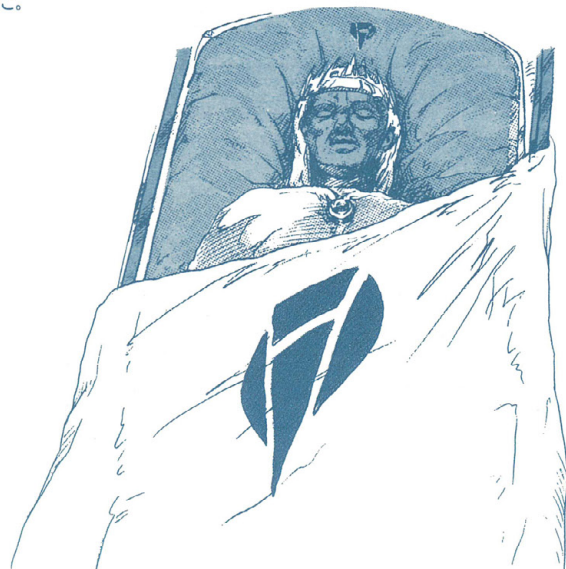
「北十字戦」におけるグラディウス本星への攻撃で、リーク人居住地域への直接攻撃はほとんどなかったが、流れ弾の爆発時に放出される宇宙放射線の影響によって多くのリーク人が死亡した。この戦いのあと、生き残ったリーク人はわずか12名。しかし、復興に手間取る帝国政府の救助活動がリーク人に及ぶことはなく、その後4名が死亡した。この時を期して、リーク人の帝国に対する不信と憎悪は急速に増大していった。

生き残ったリーク人の中で、もっとも帝国に対して憎悪を抱いたのはヴェノムであった。しばらくして、彼は仲間ら4名と共に帝国政府のある北へ向い、やがて音信は絶えた。こうして残ったリーク人は3名となり、その中にジェイムス＝バートンがいた。ジェイムスは当時3歳、両親を北十字戦で失った孤児であった。

グラディウス歴6645年、リークパワーの研究に着手していたグラディウス帝国宇宙科学庁は、そのパワーの分析と利用価値に関する報告書を完成、その重大性から、リーク人の早期認知を帝国政府に答申した。

この報告に基づき、政府はリーク人の正式認知を決め、リーク人保護政策を打ち出したのに続き、大掛かりなリーク人実態調査を実施した。

しかし、帝国に対して不信感を抱くリーク人たちは、帝国の保護政策に反発、リークパワー研究のため宇宙科学庁に收容されたジェイムスを除く全リーク人が、間もなく帝国政府のもとを去った。ジェイムスは、将来の帝国宇宙空軍への参加を志し、宇宙科学庁に残った。



グラディウス歴6647年、第16代皇帝が死去。かわって、ラーズ17世が第17代皇帝の座に就いた。

この頃から、惑星グラディウスを照らし続けてきた太陽に異変が起こった。太陽黒点が増え、中心部の温度が異常上昇を始めたのだ。太陽光は次第に青みを増し、光量も増加していった。地表の温度は徐々に上昇し、気候にも変化の兆しが見え始めた。

これらの変化に対する対応は、グラディウスの技術力で十分可能であったが、重大なことはグラディウス帝国の全エネルギー源が、太陽光に含まれるリカベラー粒子を抽出して生成されているという事実であった。太陽の異変によって、リカベラー粒子の抽出は不安定となり、エネルギーの供給に大きな影響が出始めたのであった。

帝国政府は、新しいエネルギー源としてリークパワー応用技術の確立を急いだ。そのためにはリーク人の全面的な協力が必要となってくる。帝国政府が、リーク人の探索、保護政策を急いだのもこういう背景があつてのことであった。この政策は、一部リーク人の反発を招いたが、おおむね順調に進行していった。

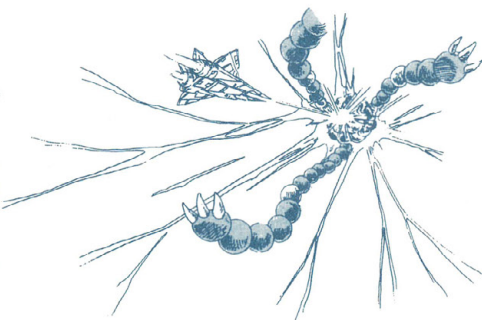
グラディウス歴6653年、宇宙科学庁は、リークエネルギー生成システムの開発に成功、さらにはリークパワーエンジンを搭載した初めての超時空戦闘機「ピックパイパー」が完成した。

しかし、これと相前後して宇宙科学庁内部では、リーク人技術者とグラディウス人との間の対立が深まった。ジェームス＝バートンは、両者間の対立を憂い、宇宙科学庁から国防省へと移籍した。

3

グラディウス歴6658年、バクテリアンの再度の襲撃をきっかけに、第二次ブラネット・ウォー（「闇の女神戦」）が勃発した。（グラディウス1）

この戦いで、ジェームス＝バートンはリークパワーエンジンを搭載した超時空戦闘機「ピックパイパー」のパイロットに任命され、激戦の末バクテリア軍の撃退に成功した。



この戦いを契機にリークパワーは大いに注目され民間の研究機関をも巻き込んだ開発競争が激化していった。開発競争が激化してゆく状況のもと、宇宙科学庁初のリーク人の技術庁長官が誕生した。彼こそが、「北十字戦」後、忽然と消え音信を絶った、ヴェノムであった。

ヴェノム長官指揮のもと、エネルギー効率を飛躍的に改善するための「ハイパードライブシステムII」が開発され、このシステムをリークパワーエンジンに応用したサイキック・リークパワー推進装置が実用化されるに至った。国防省は、次期超時空戦闘機への本推進装置の本格的採用を決め、宇宙技術庁は最新鋭超時空戦闘機「メタリオン」の開発に着手した。

そのような状況の中で帝国政府は、ヴェノムの宇宙科学庁長官就任に対して秘かな疑惑を持ち始め、ヴェノム長官周辺の調査を実施した。時を同じくして、宇宙科学庁内部のリーク人とグラディウス人との対立たいりつは静かに、しかし確実に進行していった。

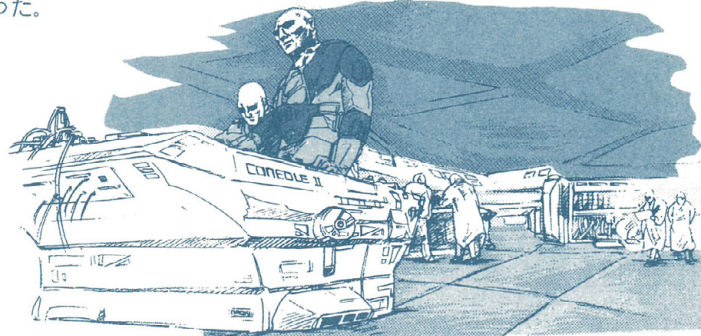
やがてその対立は、宇宙科学庁と帝国政府間の対立へと発展する様相を見せ始め、グラディウス歴6664年、ついに宇宙科学庁によるクーデター勃発に至ったのである。

4

グラディウス歴6664年、宇宙科学庁長官であるヴェノム博士を始めとする10名によるクーデターは、17代皇帝ラーズのグラディウス軍緊急発動により鎮圧された。ヴェノム博士らは逮捕されクーデターは失敗に終わった。

軍事裁判ののちヴェノムらは惑星サードへと追放された。しかし、クーデターの影響による政局の混乱は続き、翌6665年、不隲分子の凶弾により皇帝ラーズが暗殺され、さらに帝国政府の後継者争いから政局は混迷の色を深め、事態は最悪を向えた。

この間、ヴェノムら10名は、第三者の荷担によって惑星サードから脱出逃亡し、行方不明となった。



グラディウス歴6665年、政局混乱の中、ヴェノムが帝国宇宙科学庁長官であった頃より開発が進められていた超時空戦闘機「メタリオン」が完成した。

「メタリオン」は、度重なるテストフライトで優秀な性能を如何なく発揮したが、エネルギー増幅システムである「ハイパードライブシステムII」の効果が不安定である事実が指摘された。調査の結果、国防省にもたらされた報告は、ヴェノムが惑星外に持ちだした「バイオコンピュータシステム」との連動が不可欠、というものであった。

グラディウス歴6666年、惑星グラディウスのネオ・スペースプラント7惑星からの通信が一同に跡絶えた。いわゆる「サイレント・ナイトメア事件」である。帝国政府の調査により、何者かによる侵略であることが判明した。同年後半、侵略の兆候がグラディウス本星へと及ぶに至り、事態は急速に緊迫の度を増していった。侵略者は、バクテリアンの手により復活したヴェノムであった。

ヴェノムは、皇帝ラーズによって惑星サードに追放されたのち、バクテリアンの荷担により惑星シンへと逃れた。バクテリアンは、ヴェノムの野望を利用することで、惑星グラディウス侵攻の実現を狙っていた。バクテリアンは、ヴェノムに対してリーク人特有の超能力を最大限に引き出すため、大掛かりなサイボーグ手術を施した。

惑星シンにベースを構えた新生ヴェノムは、7つのスペースプラントを次々と侵略し、いままさにグラディウス本星に魔の手を延しつつあった。

グラディウス帝国政府は、新開発スペース・ファイター「メタリオン」の出勤を決めた。しかし、エネルギー増幅システムに不安材料のある「メタリオン」を駆っての出撃は冒険であった。ヴェノムの持ちだした「バイオ・コンピュータ・システム」とのリンクを試みながら、ヴェノム艦隊を撃ち倒さなければならない。その重要かつ困難な使命を帯びたパイロットに、帝国政府首脳は、「ピックパイパー」の元パイロットでありヴェノムと同じリーク人のジェイムス＝バートンを指名した。

カウントダウンが発進管制基地に響き渡る。——爆裂音！地響きと共に、「メタリオン」が発進。

惑星グラディウスの命運をかけた闘いが、いま始まった。

グラディウス歴 6641年

ジェイムス＝バートン誕生。

グラディウス歴 6644年

惑星グラディウス、亜時空星団バクテリアンからの攻撃を受ける(第一次プラネットウォー)。グラディウス史記に「北十字戦」として記述される。

グラディウス歴 6645年

●グラディウス帝国政府、リーク人の保護政策を決める。

グラディウス歴 6647年

●グラディウス帝国16代皇帝死去。ラーズ17世が17代皇帝となる。

グラディウス歴 6652年

●太陽に異変。太陽光に含まれる高エネルギー源リカベラー粒子の減少が確認される。

グラディウス歴 6653年

●宇宙科学庁、超時空戦闘機「ピックパイパー」の開発に成功。

グラディウス歴 6658年

●亜時空星団バクテリアンの再攻撃で、第二次プラネットウォー勃発。グラディウス帝国国防省は、超時空戦闘機「ピックパイパー」を発進。パイロットには弱冠17歳のジェイムス＝バートンを任命する。
●グラディウス軍、バクテリアンに圧勝する。

グラディウス歴 6660年

●宇宙科学庁長官にリーク人ヴェノム博士が着任。
●ヴェノム長官の指揮のもと、次期超時空戦闘機「メタリオン」の開発に着手。

グラディウス歴 6664年

●宇宙科学庁長官ヴェノムら10名によるクーデターが発生。皇帝ラーズはグラディウス軍の出動によりクーデターを鎮圧。ヴェノムら10名は逮捕され、クーデターは失敗。惑星サードへ追放される。

グラディウス歴 6665年

●グラディウス帝国17代皇帝ラーズ死去。
ヴェノムら10名は、惑星サードから脱出逃亡。帝国軍の必死の捜索にもかかわらず行方不明となる。
●超時空戦闘機「メタリオン」完成。

グラディウス歴 6666年

●「サイレント・ナイトメア事件」発生。惑星グラディウスのスペースプラント7惑星からの通信が一同に跡絶える。国防省の調査によりヴェノムによる侵略であることが判明。
●グラディウス帝国政府首脳は、「メタリオン」出勤を正式決定。パイロットには「ピックパイパー」の元パイロット・ジェイムス＝バートンを選出。

ハードディスクへのインストール

- 1・ハードディスクからHuman68Kを立ち上げます。
ハードディスクが、ドライブAディスクドライブがそれぞれB/Cとなっている事
を確認してください。
- 2・ハードディスクに「NEMESIS」というディレクトリを作成します。
A>MKDIR NEMESIS
- 3・プログラムディスクを、ドライブ0に挿入します。
- 4・ハードディスクのディレクトリを移動します。
A>CD A:¥NEMESIS
- 5・プログラムディスクの内容をすべてハードディスクに転送します。
A>COPY B:*,*,A:
- 6・転送が終了したら、データディスクも5の手順でファイルをすべてハードディスク
に転送してください。
- 7・転送が終了したら、インストールは終了です。

ゲームの開始

●ディスクの場合

- 1・ドライブ0にプログラムディスクをドライブ1にデータディスクを挿入して
電源を入れるかリセットボタンを押してください。
- 2・プログラムのロードが始まります。
- 3・プログラムのロードが終わるとデモが始まりますので、SHOTボタンを押し
てください。
タイトル画面に戻りますので、STARTを選択しSHOTボタンを押します。
- 4・ゲームがスタートします。

●ハードディスクの場合

- 1・ドライブ0にプログラムディスクを挿入し「OPT1」ボタンを押しながら
電源を入れるか、リセットボタンを押します。
- 2・HDからプログラム/データを読み出します。
- 3・プログラムのロードが終わるとデモが始まりますので、SHOTボタンを押し
てください。
タイトル画面に戻りますので、STARTを選択しSHOTボタンを押します。
- 4・ゲームがスタートします。

オプションモード

タイトル画面で、「OPTION」を選択します。
「OPTION」では、下記の設定を変更することができます。

- ◎PLAYERS※03 (03/99)
プレイヤーのストックを設定します。(注:99を設定した場合、点数は入りません。)
- ◎LEVEL NOMAL (NOMAL/EASY/DIFFICULT)
ゲームレベルを設定します。
- ◎MODULE INTERNAL (INTERNAL/MT-32/SC-55)
MIDI音源の選択をします。
- ◎SOUND TEST
ゲーム中に使われているBGMを聞きます。
- ◎CONFIGURATION
ゲームで使用するキーボードのキーの設定を行ないます。
- ◎EXIT
オプションモードを終了してタイトル画面に戻ります。

上下移動キーで、変更したい項目へカーソルを合わせ左右移動キーで設定を変更してく
ださい。「SOUND TEST」「CONFIGURATION」は、「SHOT」ボタンか
「POWER UP」ボタンを押すと画面が変わってそれぞれの設定モードになります。
設定が終了したら、EXITを選択してください。タイトル画面に戻ります。

コンフィグレーション

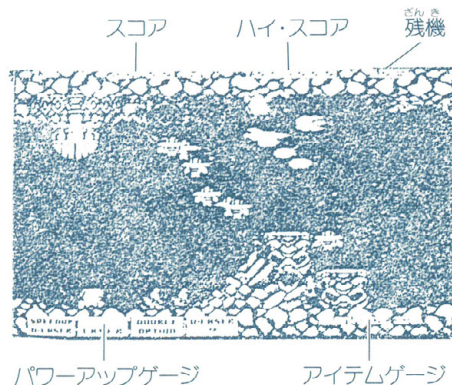
このモードは、キーボードでゲームをする場合の使用キーの変更と、ジョイスティック
のトリガボタンの変更を設定するモードです。
オプションモードで「CONFIGURATION」を選択します。
キーの設定画面になりますので、変更したいキーへカーソルをあわせ「SHOT」ボタ
ンか「POWER UP」ボタンを押します。変更したいキーをキーボードから入力します。
「EXIT」へカーソルをあわせて「SHOT」ボタンか「POWER UP」ボタンを押すこと
でコンフィグを終了しオプションモード画面へ戻ります。

●出荷時設定

UP	U
DOWN	M
LEFT	H
RIGHT	K
SHOT	X F 1
POW_UP	X F 2
[JOY]SHOT	A
[JOY]POW_UP	B

遊び方

- ①このゲームは、1人で遊びます。
- ②キーボード、ジョイスティックのどちらでも使用できます。
- ③ショットボタンを押すとゲームがスタートします。
- ④プレイヤーの持ち数は、3機です。10万点ごとに1機増えます。
- ⑤プレイヤーは、敵や敵の撃った弾、地形に当たると爆発して1機失います。
- ⑥プレイヤーは、次々と襲ってくる敵とその攻撃をかわし、ステージを進めます。母艦が登場したら、核を破壊して動きを止め、母艦内部へ侵入して下さい。母艦内部のラストシーンまでたどり着くと、パワーアップが追加され（追加されない場合もある）ステージクリアとなります。母艦を倒した後、母艦内部で敵や地形に当たってアウトになった場合は、次のステージに進めませんがパワーアップは入手できません。
- ⑦プレイヤーの攻撃は、パワーカプセルを取り、パワーアップすることによって変化します。パワーカプセルは、赤い敵や、編隊でやってくる敵を全て破壊すると出現します。
- ⑧ゲームを一時中断したい時は、**[ESC]** キーを押して下さい。ゲームを再開する時は、もう一度 **[ESC]** キーを押して下さい。
- ⑨ゲームオーバーになった場所から再開したい時は、ゲームオーバーの音楽が流れている間に **[F5]** キーを押して下さい。
- ⑩ゲームを途中で終了したい時は、**[ESC]** キーを押下後、**[F10]** キーを押して再度 **[ESC]** キーを押して下さい。
- ⑪ゲーム画面

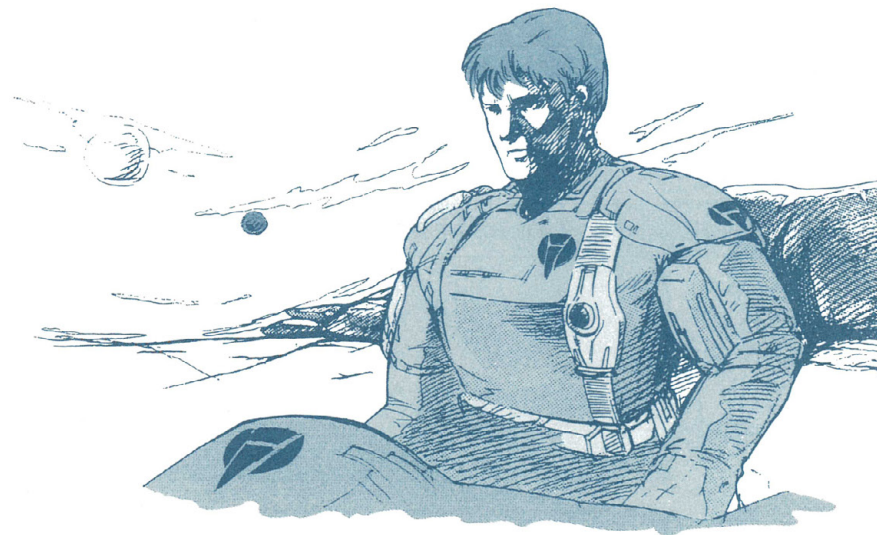


操作方法

- ①ジョイスティック使用の場合は、ポート1（またはポートA）に接続されているジョイスティックを使用します。
- ②使用する操作キーは、下表の通りです。

操作	キーボード	ジョイスティック
4方向移動	U ↑ H ← → K ↓ M	(レバー)
ショット	X F 1	トリガー A
パワーアップ	X F 2	トリガー B

※斜移動は各キーの合成になります。



パワーアップ

赤いパワーカプセルを取ると画面下のウエポン・セレクトサインが変わり、いま取得できる武器が表示されます。希望するウエポンのセレクトサインが光ったら、パワーアップボタン（XF2 またはトリガーB）を押して下さい。

(1) 標準装備

赤いパワーカプセルを取ることによって装備できます。（6種類）

1	SPEED UP	最高5段階までスピードアップ可能。
2	MISSILE	地上攻撃用ミサイル。
3	DOUBLE	2方向ビーム砲。上方にいる敵への攻撃に有効。
4	LASER	貫通力のあるレーザービーム砲。
5	OPTION	攻撃可能なプレイヤー分身。最大4体の装着が可能。
6	SHIELD	前方からの攻撃を16回防ぐ。

(2) アイテム

画面上にあらかじめ設定されたアイテムを取ることによって、一定時間の特殊効果が得られます。

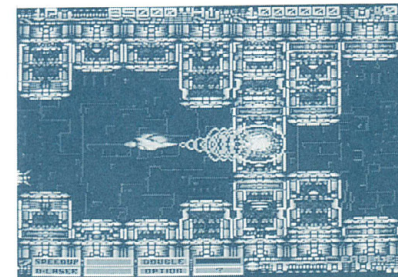
(4種類)

1	ベクトルレーザー	縦型の拡散レーザーが発射可能。
2	オプションリング	オプションがプレイヤーの回りを旋回。
3	エネミースロー	敵のスピードが半分になる。
4	ロータリードリル	生体粒子の中を突き進める。

(3) 特殊兵器

敵母艦内部に存在するエネルギー増幅システムを手することで、特殊兵器の装備が可能になります。

(7種類)



1	アップレーザー	上方に拡散レーザーを発射できるユニット。
2	ダウンレーザー	下方に拡散レーザーを発射できるユニット。
3	ナパームミサイル	敵に当たると爆発し、その爆風で敵をやっつける事ができる。
4	リフレックスリング	自機の前方を縦方向に追従するリング。
5	エクステンド・レーザー	通常レーザーより強いレーザー。
6	バックビーム	自機の後方への攻撃ができる。
7	ファイヤーブラスター	炎。ショットし続けると縮まない。

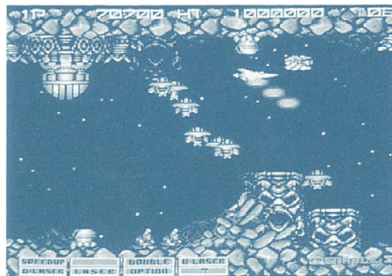
(4) パワーアップの注意点

パワーアップ増強ユニットの構造特性上、同時に持てるパワーアップには制限があります。下の図のA～C群については各1種類のパワーアップしか装備できません。

A群	ノーマル・ビーム	ノーマル・レーザー	の中から1つだけ
	エクステンド・レーザー	リフレックス・リング	
	ファイヤー・ブラスター	ダブル・ビーム	
	ベクトルレーザー	バックビーム	
B群	ミサイル	ナパームミサイル	の中から1つだけ
	ダウンレーザー		
C群	アップレーザー	ダウンレーザー	の中から1つだけ

しょうかい ステージ紹介

侵略されたスペースプラント



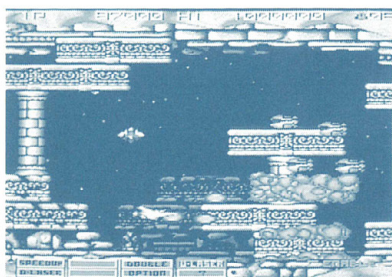
第一惑星（巨像惑星）

古代リークの文明都市が栄えていた惑星。リーク人は、このアウトレイジを使い、長距離の移動を行ったという。ヴェノムは、アウトレイジを回転移動砲台「ソッド」に改造し、無差別殺りくを可能とした。



第二惑星（植物惑星）

惑星グラディウスの食物プラントとなる星で、グラディウスの食料源の約65%を賄っていた。しかし、ヴェノムの手により改造が施された巨大植物群はバイオコントローラーに制御され、侵入者をキャッチすると同時に開花し有毒孢子を撒き散らす。



第三惑星（古代惑星）

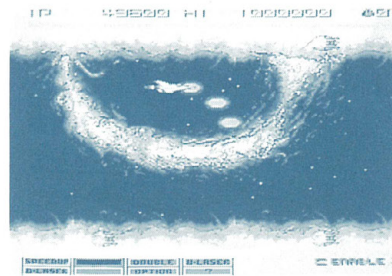
惑星グラディウスよりも前からの知的文明が存在していた星。リーク人のルーツがここにあるとされるが、いまだ解明には至っていない。グラディウス学術調査隊の一行が、ベースを構え遺跡の学術調査を行っていたが、その複雑な遺跡構造のため、やがて次々と行方不明となった。ヴェノムの改造により遺跡そのものがワナとなり、「メタリオン」の行く手をさえぎる。



第四惑星（浮遊大陸）

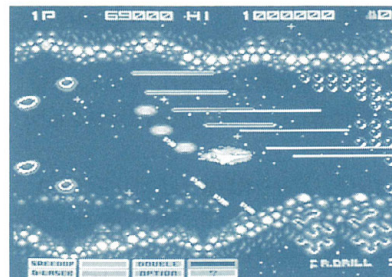
7つの惑星のなかで最も小さな惑星で、有史以前の大地震変動によって誕生した浮遊大陸が惑星本星の周囲を取り囲む。浮遊大陸は自然の要塞となり、格好の前進基地であった。この惑星はちょうどカトウラ星によって太陽光線がさえぎられる為、一年を通して極寒、暗黒の世界が続く。ヴェノムは、浮遊大陸の各所に感応レーザー砲台を設置し、地獄の難所とした。

メタリオン GO 改



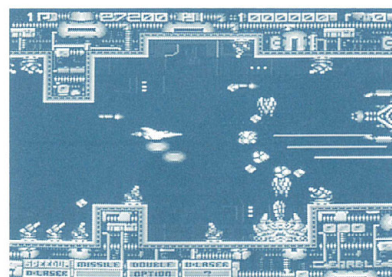
第五惑星（炎の惑星）

超高密度物体により構成された重惑星に1600万本もの有核ミサイルを撃ち込んでエネルギーを充填した人工太陽惑星。各植民星の重要なエネルギー供給基地でもあった。ヴェノムの手によりプロミネンスの制御システムが破壊され、強力な火炎兵器惑星と化した。



第六惑星（生命惑星）

グラディウス帝国がバイオテクノロジー研究を行う為のサンプル惑星であった。ヴェノムにより細胞核分裂が高速かつ変速的に行われる増殖惑星へと改造された。



第七惑星（要塞惑星）

もともとは惑星グラディウスの遊撃スペースベースとして開拓された。ヴェノムはこの基地を特殊プラズマ鋼で覆い、侵入者が容易に入り込めないように改造した。

大型母船ヴェノム艦

惑星サードから逃亡したヴェノムが、バクテリアンの荷担のもと、自らの技術力の粋を結集してつくった巨大な大型母艦である。惑星グラディウスへの復讐に執念を燃やすヴェノムが、常時作戦を構築し配下を指揮する作戦本部でもある。ヴェノム艦隊の侵略から惑星グラディウスを救うためには、7つの植民星を奪還するとともにこのヴェノム艦を破壊する必要がある。はたして、このヴェノム艦はどこに潜んでいるのだろうか。また、その弱点はあるのか。総てが謎である。

★★ジェイムス＝バートン



グラディウス暦6641年、惑星グラディウスに生まれる。リーク人。3歳の時、バクテリアンとの戦いで両親を亡くす。

グラディウス暦6645年、帝国政府のリーク人保護政策の一環として政府機関に收容され、そのまま宇宙科学庁に留る。グラディウス暦6653年、12歳の時国防省に入省。両親を奪ったバクテリアンを倒す夢をもって、帝国宇宙空軍に配属された。

グラディウス暦6658年、第二次プラネット・ウォー勃発。このとき、超時空戦闘機「ビックバイパー」のパイロットに任命され、バクテリアン軍撃退に成功する。このときの功績をもって、弱冠17歳ながら少佐に昇格。その後、惑星間紛争の解決にあたるため第7スペースプラントに駐留する。

グラディウス暦6663年、任務を終えてグラディウス本星に帰還、このとき帝国宇宙空軍大佐に昇格。

そして、グラディウス暦6666年、ヴェノムの侵略を阻止するため、最新鋭超時空戦闘機「メタリオン」パイロットとして、惑星シンに向けてグラディウス星を発進した。

★★皇帝ラーズ

グラディウス暦6647年、第17代皇帝に即位。本名ラーズ＝ハメット17世。新エネルギー源としてリークパワーに注目し、応用技術の早期確立を推進した。同時に、驚異の存在と化していたバクテリアンの侵攻に備え、国防システム体系の整備を断行、その一環として超時空戦闘機「ビックバイパー」「メタリオン」開発を指令した。

グラディウス暦6664年、宇宙科学庁長官であったヴェノム博士のクーデターを鎮圧し、惑星サードへと追放した。しかし、このクーデターをきっかけに政局は混乱し、警戒令を発令して事態の收拾に乗り出したが、翌6665年、不逞分子の凶弾によって暗殺された。



★★グラディウス史記

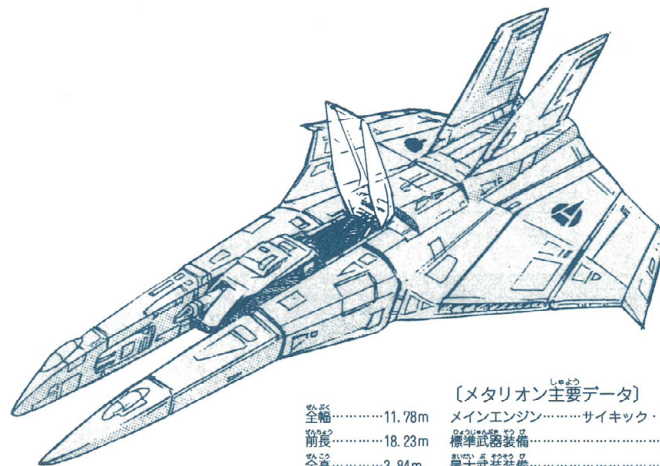
惑星グラディウスで起こった出来事を記録する公式歴史書。歴代皇帝が著述する。第17代皇帝ラーズは、「グラディウス史記Ⅻ」を記した。

★★超時空戦闘機「メタリオン」

(「メタリオン開発記録」より抜粋)

グラディウス暦6665年、ネルバ基地。スペースシャトル用第12番滑走路。その端に急造された整備ハンガーより純白の機体が一機引き出されつつあった。機体には、改良ハイパードライブシステムII(サイキック・リークパワー推進装置)が搭載されている。今回のテストフライトは、このシステムの性能評価のため実施される。数回のテストフライトでハイパードライブシステムIIの効果が不安定であることが指摘され「メタリオン」100%完成のための最重要課題となっていた。

グラディウス標準時26時18分、その機体は4機のエスコート用C-42と観測用R-27を従え、大地の束縛より解き放たれた。



〔メタリオン主要データ〕

全幅	11.78m	メインエンジン	サイキック・リークパワー推進装置
前長	18.23m	標準武装	5
全高	3.84m	最大武装	16
自重	13.2t	最大速度	ワープ40
定員	1名	巡航速度	ワープ8

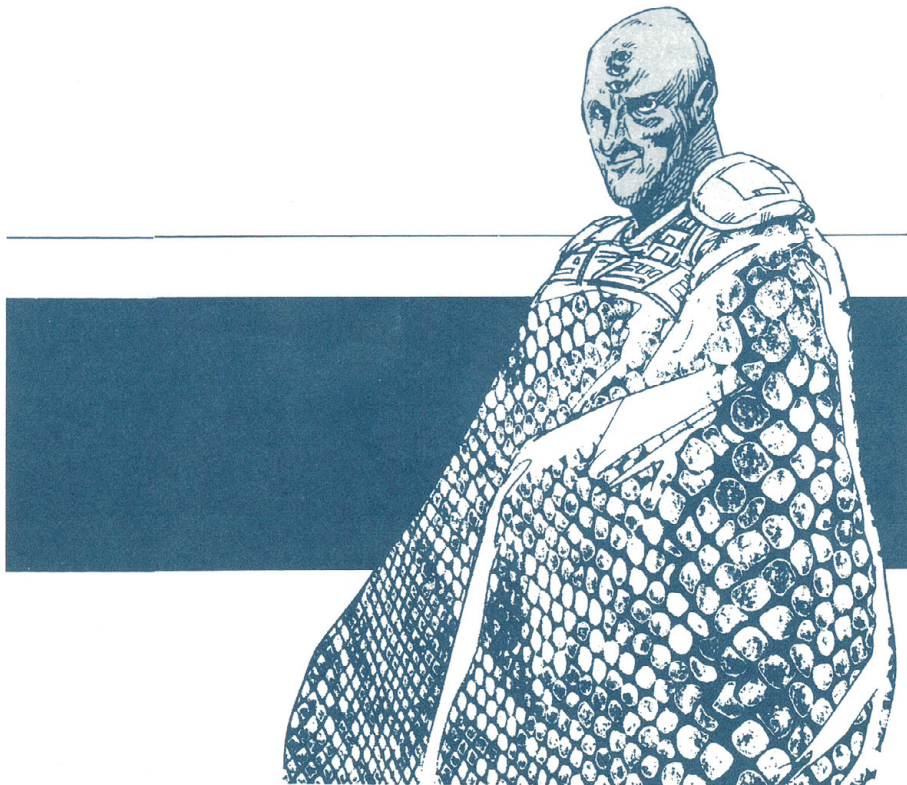
超時空戦闘機「メタリオン」は、新エネルギー源として注目を集めているリークパワーをさらにハイパードライブシステムIIによってエネルギー効率を飛躍的に改善したサイキック・リークパワー推進装置を初めて搭載したスペースファイターである。

驚異の存在と化していたバクテリアンの侵攻に備え、超時空戦闘機「ビックバイパー」に次いで開発が進められてきた。皇帝ラーズの指令によって、宇宙科学庁長官であったヴェノム博士が開発にあたった。サイキック・リークパワー推進装置の最終調整を残した時点で、ヴェノムらがクーデター失敗で追放されたため、宇宙科学庁のその後の調整作業は思うように進まず、未完成のままとなっている。

★★ヴェノム博士

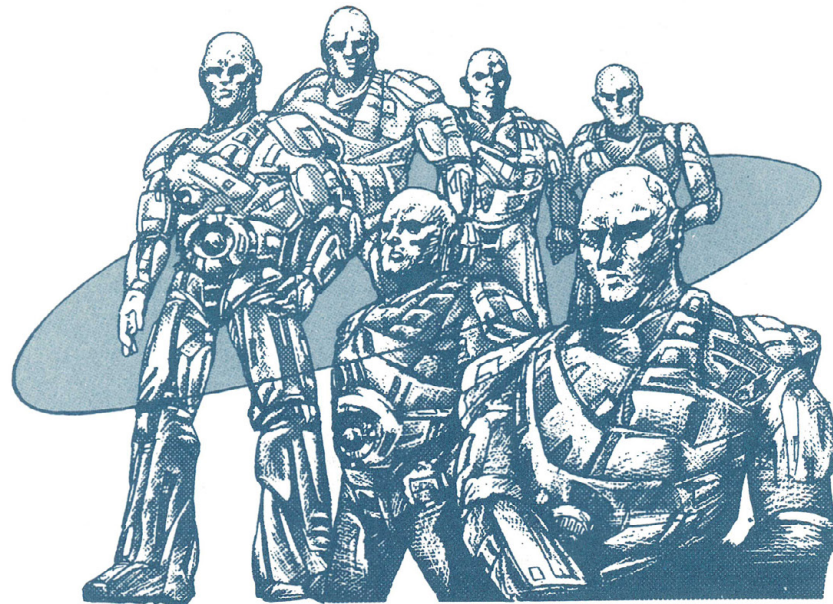
グラディウス暦6625年、惑星グラディウスに生まれる。リーク人。科学者。
元・惑星グラディウス宇宙科学庁長官。側近ら10名とともにクーデターを起こすが皇帝ラースにより鎮圧され、惑星サードへと追放される。

グラディウス暦6665年、亜時空皇団バクテリアンの援助を得て、惑星サードから脱出の後、惑星シンに基地を建設。その後、リーク人の超潜在能力を最大限に引き出すための改造手術を受け、惑星グラディウスのスペースプラント7惑星を侵略、魔の手を母星グラディウスへと延し始めた。超人的頭脳と、非人間的残虐さを持つ、恐るべき侵略者である。

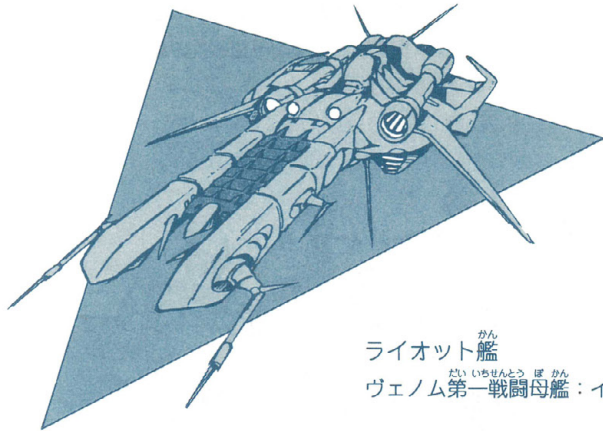


★★ヴェノム側近

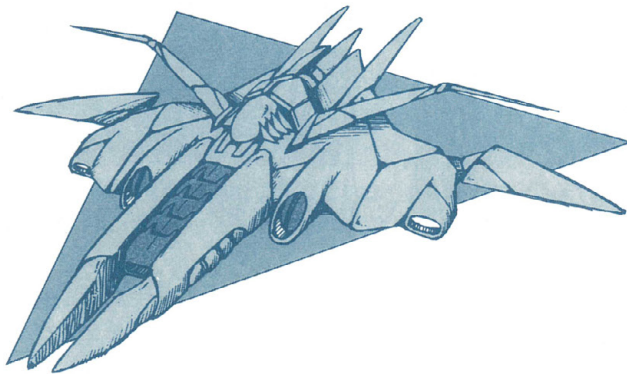
宇宙科学庁でヴェノム博士とともにリークパワーの開発にあたったリーク人たちはグラディウス暦6664年ヴェノムと共に帝国政府に対しクーデターを起こした。結局、クーデターは失敗に終わり惑星サードへと追放された。その後の行動はヴェノムと同じ軌跡をたどり、ヴェノムの惑星グラディウス侵攻にあたって、スペースプラント7惑星に大型母艦と共に配備された。



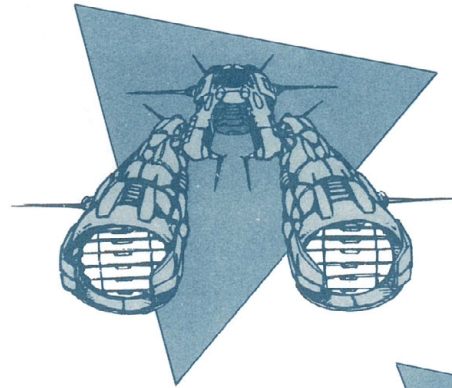
- | | |
|----------|---------------|
| 巨像惑星・指令官 | オーバーキル大佐 |
| 植物惑星・指令官 | アンスラックス大佐 |
| 古代惑星・指令官 | ジューダス=プリースト將軍 |
| 浮遊惑星・指令官 | モーターヘッド大佐 |
| 炎の惑星・指令官 | テストメント中佐 |
| 要塞惑星・指令官 | トータルデス大佐 |



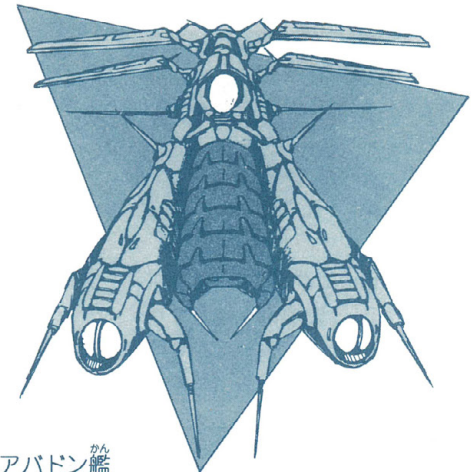
ライオット艦
ヴェノム第一戦闘母艦：イオンミサイル砲4基搭載



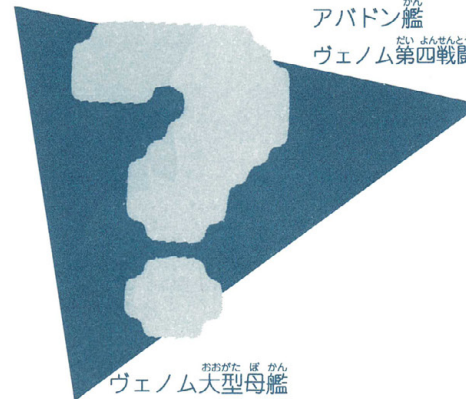
ミスフィッツ艦
ヴェノム第二戦闘母艦：イオンレーザー砲4基搭載



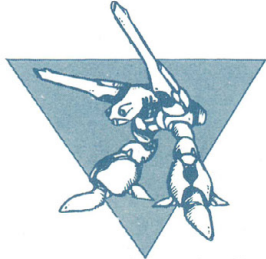
メイヘム艦
ヴェノム第三戦闘母艦：磁気イオン砲2基搭載



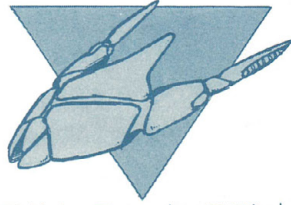
アバドン艦
ヴェノム第四戦闘母艦：巨大感応レーザー砲搭載



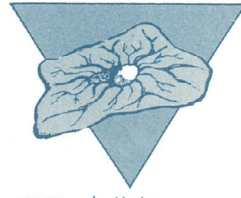
ヴェノム大型母艦
ヴェノム作戦指令母艦



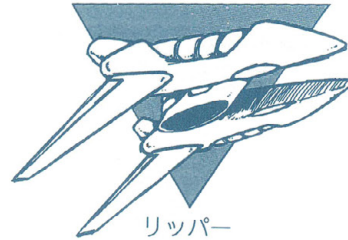
ランニング=ワイルド
 歩行型対空砲撃ロボット



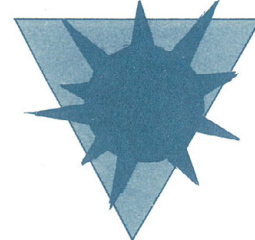
アグノスティック=フロント
 遊撃偵察機



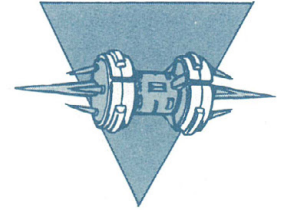
フロットサム
 バイオニック浮遊爆雷



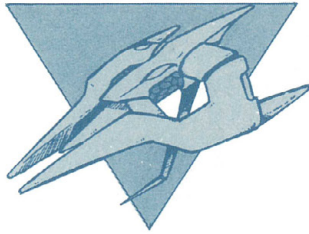
リッパー
 超高速爆撃機



デストラクション
 誘導機雷



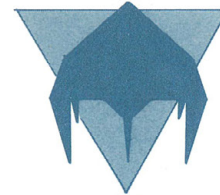
キール
 戦略爆撃機



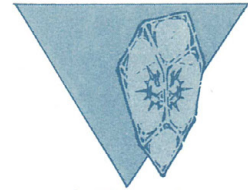
エクソダス
 時空間移動爆雷



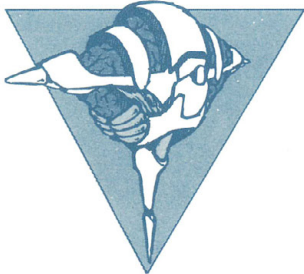
ソアー
 ス克蘭ブル戦闘機



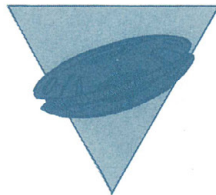
メイス
 小型円盤



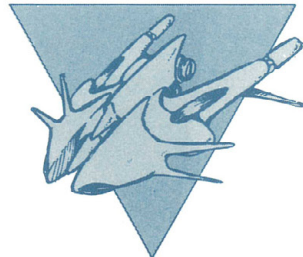
ダイヤモンドヘッド
 超低温移動爆雷



ヴォイヴオド
 機動偵察機



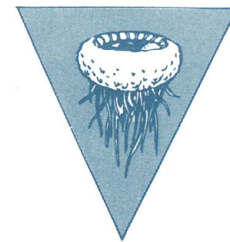
ソドム
 高速円盤



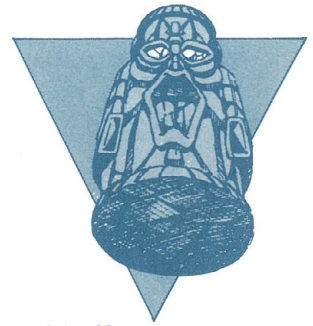
ディッガー
 標準哨戒機



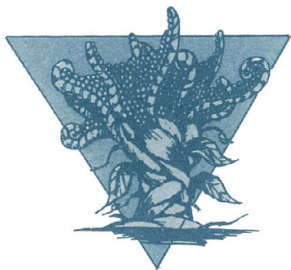
ワスプ
 有機抗体



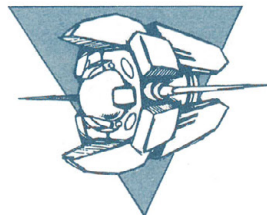
ジェットサム
 特殊プラズマ抗体



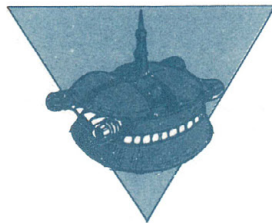
ソッド
 リークパワードイオン砲台



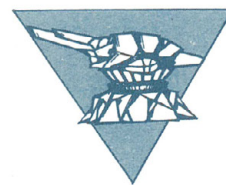
オンスロート
バイオニックイオン砲台



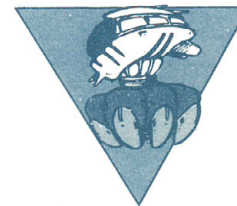
シナー
遠隔操作爆雷



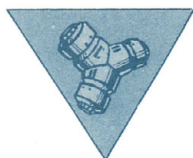
バンリー
感応レーザー砲台



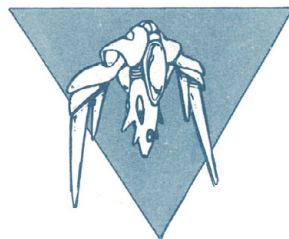
プラズマティックス
ハイパーイオン砲台



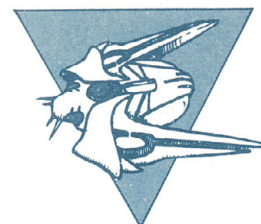
タンカード
全領域無人砲台



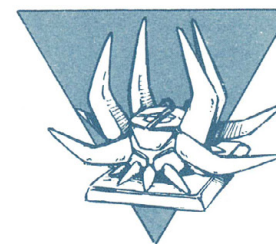
トリニティー
スクランブル戦闘機



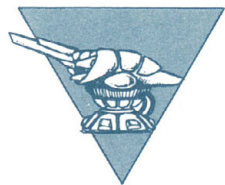
マシーンヘッド
戦術哨戒機



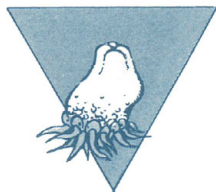
イートロープ
突撃戦闘攻撃機



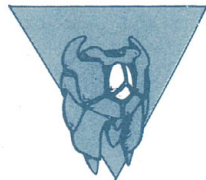
デスロウ
スクランブルハッチ



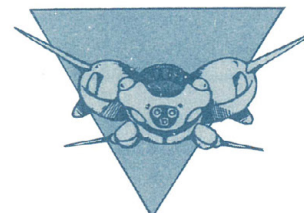
オジー
対空イオン砲台



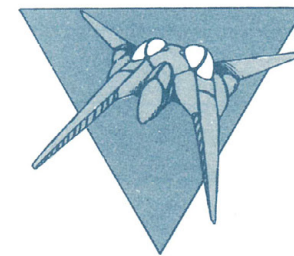
リジー
有機イオン砲台



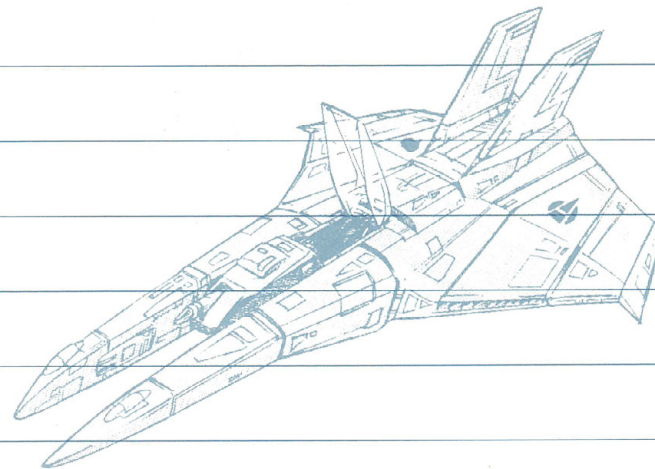
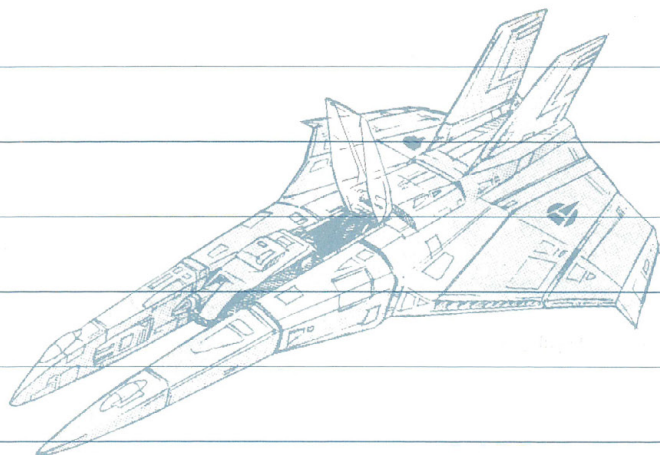
ダークエンジェル
スクランブル爆雷

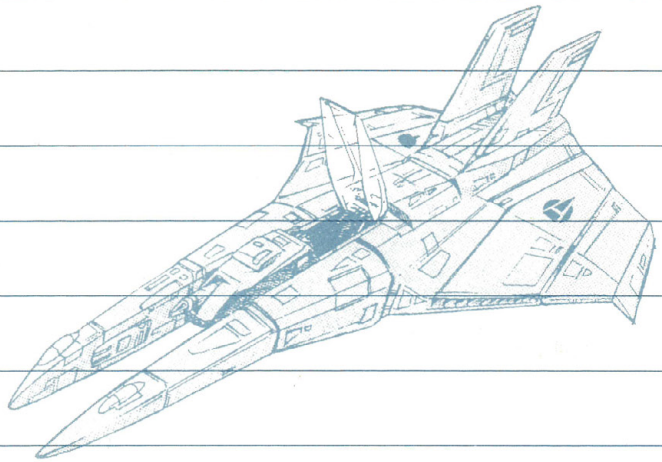


D. R. I.
対突迎撃型戦闘機



アボトワール
早期警戒機







株式会社 エス・ピー・エス
ネメシス解説書